

モーツァルト作曲 ダ・ポンテ台本

コジ ファン トウツテ

女はみんなこうしたもの、または、恋人たちの学校

全2幕原語公演(日本語字幕付)ピアノ伴奏版

2025

8/31(日)

指揮 / 土師吉貴

演出 / 中村敬一

エスパック未来中心 小ホール

開演 / 14:00 終演 / 17:00

開場 / 13:30 全席指定

一般 / 3,000 円 高校生以下 / 1,500 円

〈会員先行販売〉5/10 ~ 5/25

〈一般販売〉6/1 ~

プレイガイド (一般販売のみ)

とりぎん文化会館 / エスパック未来中心 /
米子市文化ホール

鳥取オペラ協会入会のお誘い

鳥取オペラ協会協賛会員になって頂くと

①座席指定チケットの先行予約ができます。

②ゲネプロにご招待します。

③演出家のレッスンが

見学できます。



詳しくは HP をご覧ください

男二人は

「恋人は浮気なんてしない!」と言います

アルフォンゾはそれを否定します

そこで、3人は恋人が浮気をするか賭けをします

男二人は変装し お互いの恋人を口説きます

すると 女性たちは恋に落ち

結婚まで約束してしまうのです

そんな状況の中で この恋物語は

どう決着するのでしょうか?

許婚は好きよ!

だけど...

彼の魅力には抗えないわ!

フィオルディリージ

デスピーナ



野津美和子

中原美幸

小椋美香子

ドラベッラ

デスピーナ



竹内美咲

長谷川愛

寺内智子

グリエルモ

フェランド

ドン・アルフォンゾ



伊藤友祐

川西悠紀

吉田章一

ピアノ



稲毛麻紀

伊賀奈ゆり

お問合せ // 鳥取オペラ協会

☎090-9066-1814 (鈴木)

合唱 / 鳥取オペラ協会合唱団

オペラ **コジ ファン トウツテ**

ダ・ポンテ台本

モーツァルト作曲

オペラ「コジ ファン トウツテ」への誘い

このオペラは、恋愛における「心の葛藤」を表現した見事な作品です。「恋愛ってなんだろう?」の問いに対する一つの答えがあるのかもしれませんが。初演された頃から「内容が不道德だ」と、ベートーヴェンやワグナーも毛嫌いしていたようです。この浮気物語の結末を、何事もなく受け入れるには、離婚率の高い現代社会で、何か違和感があります。演出によっては、カップルの関係が崩れてしまう解釈もありますが、テキストはハッピーエンドです。その違和感をどう解釈すればよいのでしょうか。許婚同士の関係が身分制度の閉塞感を伴うものだった18世紀、姉妹たちには外国風の男たちとの関係に「自由」を感じ、「人生の善きもの」を求めたのかもしれませんが。士官たちの方も姉妹を口説く中で、異なる女性の美しさの中に、新たな「何か」を感じ取ったのかもしれませんが。ダ・ポンテは「自由な恋愛」を描くことで、身分制度という「運命」に対し、理性で立ち向かい、心の平安が得られると主張したのかも…。そして、理性によって困難を乗り越える人間の姿を讃えているのです。

そうは言っても、浮気をしたことには変わりないのですから、今風に考えれば納得がいかないはず。しかし、彼らにとって、浮気であろうと「恋」に違いないはずなのです。どんな修羅場があっても、乗り越えていく逞しさは、現代人からするとうらやましい限りです。

そもそも「恋愛ってなんだろう、人を愛するってなんだろう」と深く考えさせられるオペラです。

作曲・指揮を独学。各種器楽曲や声楽曲の作曲、主な作品に、バガテルは短調、ソプラノ・ヴァイオリン・ピアノと朗読のための「幸福の王子」、ソプラノ・ピアノと朗読のための「ツグミの髭の王様」などがある。鳥取男声合唱団・指揮者、合唱団雑音(いと)団員・指揮者、アモレ鳥取ボノッチの会理事。



指揮 / 土師吉貴



演出 / 中村敬一

1957年東京に生まれる。武蔵野音楽大学同大学院で声楽を専攻。卒業後、舞台監督集団「ザ・スタッフ」に所属してオペラスタッフとして活躍。鈴木啓介、栗山昌良、三谷礼二、西澤敏一各氏のアシスタントとして演出の研さんを踏む。1989年よりウィーン国立歌劇場にて、オペラ演出を研修。1995年ジローオペラ新人賞、2000年に新国立劇場での「沈黙」が好評を得る。2002年国民文化祭鳥取で「ボラーノの広場」の台本と演出を手掛ける。それ以後、鳥取オペラ協会の公演すべての演出を担当している。現在、国立音大・大阪音大等の客員教授を務めている。

野津美和子(のつ みわこ)

鳥根大学教育学部特別音楽課程(声楽科)卒業。プラバニューイヤーパーラコンサート、山陰の名手コンサート、アザレア音楽祭、手づくり第九コンサート in 鳥根をはじめ、「フィガロの結婚」「魔笛」「秘密の結婚」「ボラーノの広場」「虹の大橋」「カヴァレリア・スティナート」等のオペラに出演。

竹内美咲(たけうち みさき)

鳥根大学教育学部教育専攻卒業。同大学大学院教育学研究科修了。声楽を山本和代、佐々木直樹両氏に師事。第8回東京声楽コンクール新進声楽家部門本選入選。松江プラバニューイヤーパーラコンサート、TOTTORI LIVE Projectに出演。山陰各地で合唱指導や演奏活動を行っている。

中原美幸(なかはら みゆき)

大阪音楽大学声楽科卒業。同時に優秀賞受賞。同大学院オペラ研究室を終了。第2回鳥取県クラシックアーティスト・オーディションにて最優秀賞受賞。2015年ウィーンナームジークセミナーにてディプロマ取得。「ヘンゼルとグレーテル」グレーテル役でオペラデビュー。現在、様々なコンサートを企画運営している。

長谷川愛(はせがわ あい)

くらしき作陽音楽大学音楽学部音楽学科声楽専攻卒業。声楽を桂藤久美子、阿部靖子・白石由美子の各氏に師事。これまで鳥取オペラ協会公演「フィガロの結婚」「ボラーノの広場」、2003年 RAKUGOPERA『ドン・ジョヴァンニ』ツェルリーナ役で出演。2004年、2019年、2023年ニューイヤーパーラガラコンサートに出演。

吉田章一(よしだ あきかず)

鳥取大学教育学部卒業。広島大学大学院学校教育研究科修了。声楽を小松英典、西岡千秋、佐藤展、吉田征夫、平野弘子の各氏に師事。オペラでは、モーツァルトの「コジ ファン トウツテ」「フィガロの結婚」「ドン・ジョヴァンニ」、特に2002年国民文化祭公演「ボラーノの広場」では主役のキューストを歌い成功を収めた。

伊藤友祐(いとう ゆうすけ)

兵庫県神戸市出身。大阪音楽大学卒業。卒業後渡伊。各種国際音楽コンクールにて受賞を重ねる。2016年エトナオペラフェスティバル「愛の妙薬」ベルコーレ役で欧州デビュー。翌年「椿姫」ジェルモン役。トリエステ・ヴェルディ歌劇場「ジャンニ・スキッキ」マルコ役。2018年エルサレムオペラ「椿姫」にジェルモン役で出演。

川西悠紀(かわにし ゆうき)

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。第39回イタリア声楽コンクールに入選。プラバニューイヤーパーラコンサート、山陰の名手、アザレア音楽祭、第九公演のバスソリストおよびテノールソリスト、又「フィガロの結婚」「椿姫」等のオペラに出演。三原重行、大橋大海、直野資、経種康彦、妻屋秀和の各氏に師事。

小椋美香子(おぐら みかこ)

作陽音楽大学声楽科卒業。同大学専攻科修了。オペラマイスタークラス研究生課程修了。船橋幸子、西内玲、フォルカ・レニッケ、小松英典、吉田旅人、平野弘子の各氏に師事。鳥取オペラ協会公演に初回から出演。2010年「フィガロの結婚」で4度目のスザンナを演じ、好評を得る。2013年米子市文化奨励賞受賞。

寺内智子(てらうち ともこ)

大阪音楽大学音楽学部声楽科卒業。同専攻科修了。関西二期会研究生を経てイタリアへ留学。帰国後、「フィガロの結婚」「愛の妙薬」「カルメン」「ボラーノの広場」「エフゲニー・オネーギン」他、とりアートでは「魔笛」、「ヘンゼルとグレーテル」、2022年の「ドン・ジョヴァンニ」ではエルヴィーラ役兼プロデューサーを務める。

STAFF

指揮 / 土師吉貴

演出 / 中村敬一

コレペティートル / 梁川夏子

合唱指導 / 尾前加寿子

舞台監督 / 山中舞

照明 / 榎木実

総合プロデューサー / 寺内智子

事務局長 / 鈴木百百子

プロジェクトチーム

計羽孝之・寺内智子・鶴崎千晴

三好芳子・小椋美香子・尾坂俊恵

尾前加寿子・松田千絵・谷岡弘崇

鈴木百百子